

動体としてあるべき姿を極めた、本質的な美しさ。

エクステリアデザインの方向性を決定づけたのは、新型ACCORDの走りそのものでした。低重心・低慣性の新世代プラットフォームを土台にした“先行車”と呼ばれるテスト車は、厳しさを知られる鷹栖のコース*を路面に吸い付くような安定性と思い通りの応答性で華麗に駆け抜け、欧州プレミアムセダンに比肩するパフォーマンスを体験させてくれました。その感動をカタチにすること。それがエクステリアデザインの開発コンセプトでした。

一流アスリートや俊足動物がそうであるように、高い能力は主張せずとも外見ににじみます。真に優れた走りには、表層的なデザインテクニックやギミックはふさわしくありません。開発では、いわば“走りの声”に耳を傾けながら、新型ACCORDの卓越した走りが求めるスタイリングを3つのキーワードに集約し、“走りの視覚化”を追求。引き締まった体幹さながらの抑揚豊かなボディと、たくましい四肢の筋肉を思わせる力強いフェンダーなどにより、動体としての本質的な美しさへと鍛え上げました。



CLEAN

基本骨格に逆らわない
素直でクリーンなスタイリング

動体としてあるべき姿を本質から見つめ直し、基本骨格に逆らわない自然な造形を追求。複雑に抑揚する面を緻密に整理することで、恣意的な屈折やラインに頼ることなく、存在感と品格を兼ね備えたクリーンなスタイリングをめざしました。

SPORTY

力強い下半身とスリークキャビンが
織りなすスポーティーフォルム

低重心・低慣性プラットフォームの利点を生かし、力強い下半身とスリークキャビンが一体となったロー&ワイドなスポーティーフォルムを追求。速さのみならず、ACCORDならではの上質かつ爽快なパフォーマンスをイメージさせる大人のスポーティー表現をめざしました。

MATURE

身体を鍛え上げるかのように
日々磨き上げたアスリートフォルム

「成熟」を意味するキーワードで共有したものは、デザインを徹底的に鍛え上げるという意志。能力に見合った筋肉を身に付けさせるように、例えばタイヤまわりの面構成を熟成させるなどし、均整のとれた美しいアスリートフォルムへ鍛え上げました。



* 北海道にある「鷹栖ブルーピンググラウンド」。極限の高速走行テストを行う周回コースや、最大高低差57.5mのなかに多様なコーナーと路面変化等を設定したワインディングコースなどがある。